

## 出版情報

書名・件名	厚生白書(平成9年版)
副書名	「健康」と「生活の質」の向上をめざして
編集者・監修者	厚生省
所在地	東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
国名	日本
郵便番号	100-45
電話番号等	03(3503)1711
発行日	平成9年6月23日
発行日	平成9年6月23日
ISBN	ISBN4-324-05193-3(5105307-00-000)
価格	2476円

---

## 平成9年版厚生白書の刊行に当たって

---

平成9年版厚生白書をここに公表します。

厚生白書は、昭和31年の「国民の生活と健康はいかに守られているか」と題する第1回目の白書以来、今回が40回目の刊行となります。

戦後の劣悪な衛生状態から再出発した我が国において、厚生行政は、正に国民の生活と健康を守るべく、伝染病予防や生活環境の改善、健康診査の実施などさまざまな保健衛生対策を推進してきました。その結果、医療の進歩もあいまって、国民の健康水準は大きく向上し、今日、世界有数の長寿社会を実現することができました。

しかし、21世紀を目前に控え、かつて克服するかと思われた感染症が国際化時代の脅威となってきている一方、生活習慣病や、心の病といった現代人の生活に根ざした疾病が増加するなど、国民の健康をめぐる状況は新たな時代を迎えようとしています。また、高齢化の進行に伴い、介護の問題などが深刻化してきています。

今年の白書は、こうした現代的な状況を、「健康」と「生活の質」の視点から捉え直してみました。

「健康」の視点からみると、いかに社会や科学が進歩しようと、すべての感染症が克服されることはあり得ず、したがって、感染症から国民の健康を守るためには、予防対策に加えて、地球的規模の危機管理が重要であることを改めて認識する必要があります。また、快適さや便利さを追求し続けた現代社会では、現代人の生活習慣そのものが疾病の原因となっています。国民一人ひとりが自らの生活を見つめ直し、どのように行動するかが問われている時期に来ているといえます。

一方、「生活の質」の視点からみると、高齢社会においては、平均寿命がどれだけ伸びたかということのみではなく、健康で生きがいのある自立した生活を高齢者が送ることができるようにしていくことが、厚生行政の基本的な目標になります。

白書では、このような基本認識の下で、国民の「健康」と「生活の質」の向上をめざして、今後どのような取り組みを進めていくべきか、その課題と展望を探っています。

血液製剤によるHIV感染問題につきましては、厚生省は、これまでの経験を的確に生かしきれなかったことを深く反省し、今回の事件を重い教訓として、このような健康被害が再び生じることがないように、行政の抜本的な見直しを進めています。白書にも述べていますように、恒久対策の推進に全力を尽くすとともに、医薬品等の安全対策の強化に取り組んでいます。このほか、白書では、医療制度改革や、介護保険制度の創設を始めとする社会保障構造改革、少子化をめぐる課題、廃棄物対策の推進など、厚生行政の各分野における施策の動向や課題を紹介しています。

この白書が、広く活用され、今後の厚生行政について国民の皆様の御理解と御協力をいただくための一助となれば幸いです。

平成9年6月 小泉 純一郎 厚生大臣

---

厚生白書(平成9年版)

*(C)COPYRIGHT Ministry of Health , Labour and Welfare*